

5 整備スケジュール（建設計画より）

年度

工程	H29～H30	R1～R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
基本構想	→							
基本計画		→						
基本実施設計				→				
本體工事						→	→	→
付帯工事							→	→
外構工事							→	→
開院								●

6 各部門における新たな取り組み（部門別計画より）

■患者にわかりやすい外来部門

- ・患者にとってわかりやすくかつ短い動線となるように配置することで、スムーズな案内が可能

■救急病床（オーバーナイトベッド）の設置

- ・緊急に入院を要するとされた患者を一時的に救急病床にて受け入れることにより、翌日のスムーズな入院の移行が可能

■手術室の拡充（将来的な可変性）

- ・手術室は2室
- ・ハイブリッド手術室や手術ロボットの導入を見据え、将来的に拡張を想定した配置

■検診（人間ドック等）施設や検診内容の充実

- ・地域の検診（乳幼児から成人まで）体制の充実
- ・子育て世代、定年退職後、若年層の検診内容の充実
宿泊ドック・脳ドック等内容の充実

7 医療従事者の人材確保（管理運営計画より）

■基本方針

- ・優れた医療従事者の育成
- ・健全経営を目指し、業務量に対応した適切な人員配置
- ・常に質の高い医療提供のための労働環境を整備

■働きやすい環境の整備

- ・勤務環境の整備
- ・福利厚生施設の整備

■医師の確保

- ・より質の高い医療の提供を図るため、必要十分な医師の確保

■看護師の確保

- ・第二次救急医療機関の救急病床に対応した看護師の配置を適切に行うなど、急性期医療に必要な看護師を確保

■医療技術者の確保

- ・業務量の増加が見込まれる部門の医療技術者の確保

8 事業費（財政計画より）

- 概算事業費 事業費は今後の建設物価変動により変動（増減）する可能性があり、引き続き事業費の精査に努めていく。また、検診センターに関して、移転先の既存の建物を活用できる場合には、活用も視野に入れて検討する。

項目	金額
1. 設計管理料	2. 4億円
2. 本體建設工事費	38. 3億円
3. 医療機器整備費等	9. 3億円
合計（税込）	約50. 0億円

- 財源内訳 新病院の財源は、銀行借入金や医師会病院建設基金で賄い、国・県や市の補助金を活用する。